

令和3年度「アップルヒル」に係る事業報告書等評価結果

アップルヒルについては、株式会社アップルヒルが指定管理者として施設の管理運営を行っています。

令和3年度の事業報告書等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認、検証し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和4年7月8日

施設名	アップルヒル
設置目的	消費者との交流による地場産品の開発、普及及び交流の展開を図るとともに、青森市及び交流圏域の情報の受発信基地として寄与するため設置しています。
所在地	青森市浪岡大字女鹿沢字野尻2-3
指定管理者	【名称】株式会社アップルヒル 【代表者】代表取締役 佐藤 文一 【住所】青森市浪岡大字女鹿沢字野尻2-3
指定期間	令和2年4月1日 から 令和7年3月31日 まで（5年間）

評価項目	検証結果	評価結果	
		適正	要改善
管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理責任者や法定設置義務がある防火管理者、食品衛生管理責任者、食品表示責任者を配置している。</li> <li>職員の業績評価や自己申告制度を設け、雇用労働条件の向上に取り組んでいる。</li> <li>人材育成方針に基づき、職場内研修の実施及び外部講習会等への参加に取り組んでいる。</li> <li>各種保守点検業務を専門業者へ委託しているほか、職員による日常点検を実施している。</li> <li>整備済みの緊急時連絡体制、危機管理マニュアルに基づき、不審者・不審物対応講習会（4月）、消防訓練（5月、10月）、土砂災害避難訓練（6月、11月）を実施している。</li> <li>自社の個人情報保護規程に基づき、顧客情報のデータ管理者の設置、各種資料の金庫への保管など適切に管理している。</li> <li>リサイクル箸の活用や節電、ごみの分別、食品ロス対策などの省エネ活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>障がい者等への対応については、専用駐車スペースの確保や車イスの貸し出しのほか、必要に応じて施設内の移動助助を行っている。</li> <li>出入口への消毒液設置、注意喚起の掲示など新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じており、安全安心な施設利用に取り組んでいる。</li> </ul>	○	
運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内への意見箱の設置や利用者アンケートの実施により、利用者の苦情や要望の把握に努め、速やかな改善対応に取り組んでいる。</li> <li>各種イベントを開催しているほか、ホームページやFacebookを通じて積極的に情報発信するなど集客対策に取り組んでいる。</li> <li>校外学習を積極的に受け入れ、観光りんご園でのりんごもぎ取り体験を行うなど、地域特産品を活用した教育活動に貢献している。</li> </ul>	○	
事業実施結果について	<p>令和3年度の施設来場者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度の160万7千人から3万6千人減の157万1千人となったが、指定管理者においては、利用客のご意見を踏まえた改善対応、コロナ禍に適応したイベント開催、校外学習の受け入れ、地域団体事業への参画など、積極的な事業実施により、施設及び地域の活性化に取り組んでいる。</p>	○	
収支決算書について	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理経費に指定管理以外の経費の混入はなく、歳入歳出については、適正に管理されている。</li> <li>収入となる売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少したが、売上減少状況を踏まえた、商品の仕入調整や販売費及び一般管理費の削減などに取り組んだ結果、収支黒字を達成しており、大変厳しい状況下においても収益を確保しながら良好な運営を継続している。</li> </ul>	○	

【総合評価】

全ての評価項目について適正に実施している。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が前年度よりも大きく、当初の計画通りに各種事業を実施することができない厳しい状況であったが、本市との連携を密にし、柔軟かつ迅速に対応した結果、収支黒字を達成できたことは大いに評価できる。

今後も利用者のニーズを捉えるとともに、実施事業の検証、改善に努めながら、引き続き良好な施設運営に取り組んでいただきたい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 浪岡振興部地域づくり振興課  
【電話】 0172-62-1127  
【メール】 n-chiiki@city.aomori.aomori.jp